

当行では地方創生に関する体制整備を行い、地方創生担当部を設けるとともに全店の支店長を地方創生サポーターに任命して各地方公共団体の地方版「総合戦略」の実現を支援しております。

また、中期経営計画「for the FUTURE ～未来に向けて～」では外部との連携を強化する「広域情報戦略」の担当役員を配置いたしました。加えて、これまでの金融ビジネスにとらわれない新たな事業領域へ挑戦することで、地域への新たな価値の提供に努めています。

地域経済活性化に向けた地方創生の取組み

■地域エネルギー事業会社「スマートエネルギーとっとり」設立

当行は、鳥取市、ダイヤモンド電機株式会社、株式会社城洋、株式会社市民エネルギーとつとりとの5者共同出資により、2024年12月に株式会社スマートエネルギーとつとりを設立いたしました。

鳥取市は「脱炭素先行地域」として地域脱炭素の様々な取り組みを進めており、再生可能エネルギーの地産地消を一層推進する先進的な取り組みを加速していくため、鳥取市と技術・知見を有する企業によって同社が設立されたものです。

当行は「脱炭素先行地域」の取り組みをサポートしていくとともに、安全・安心に暮らし続けられるまちの実現に貢献してまいります。



■企業版ふるさと納税マッチング支援

当行では企業版ふるさと納税(正式名称「地方創生応援税制」)を活用した自治体および企業への支援に取り組んでいます。

2024年度は大阪府大阪市に本社を置く松井酒造合名会社より鳥取市の「地域おこし協力隊事業」への寄附が実現するなど、5件のマッチング支援を行いました。



■とりぎん青い鳥基金により持続可能な地域づくりに取組む団体を支援

とりぎん青い鳥基金は、鳥取県初の公益信託として2000年に設立されました。また、2020年4月より「公益財団法人とつとり県民活動活性化センター」をパートナーに迎え、地方創生SDGsの実現を目的とした事業として、鳥取県内で持続可能な地域づくりに取組む団体を支援しています。2024年下期(第49回)の助成先は下記のとおりです。



団体名	活動内容
「椿の森」を後世に伝える会	地域資源である「椿の森」を活用した自然体験の提供と、森の保全による自然環境・生物多様性の保護。
SEEK	伝統芸能「麒麟獅子」を通して、鳥取の未来に希望を持ち、鳥取だからこそできる生き方を見つけられる人を増やすためのイベント。
非営利活動団体きやらぼく	少年期の心身の健全な発達及びリーダー性を育てるスポーツ指導により、地域活性化、部活動の地域移行につなげる。
TottoRE:Makers	社会課題の解決に向けて行動できる力を育むべく、ゲーム感覚で世界のさまざまな課題や文化について学べる機会を提供する。

■地域への金融教育に関する取組み

金融教育の必要性が広く認知されてきている中、教育現場でもその関心が高まっています。当行では小学生～高校生を中心とした若年層への金融教育に注力しており、2024年度の当行金融教育受講者数は1,789名にのびりました。



鳥取城北高等学校でのセミナーの様子